



平成25年11月18日
メディカルアイ株式会社

医療・介護多職種連携SNSを富士ゼロックスシステムサービスと代理店販売契約締結

メディカルアイ株式会社（代表取締役社長 山口 典枝／東京都港区）は、富士ゼロックスシステムサービス株式会社（代表取締役会長 小山 眞一／東京都千代田区）と代理店販売契約を締結、メディカルアイの医療・介護多職種連携SNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）「医歩ippo ソーシャルネット」を富士ゼロックスシステムサービスと共に地域単位で販売していくことで合意しました。

【業務提携の背景と目的】

在宅で医療・介護サービスを受けたいというニーズが高まり、国や自治体も在宅医療の在り方を模索し、実証事業やモデル事業を展開しています。しかしながら、在宅医療・介護サービスを提供する医療機関や介護事業者などは、情報共有の部分で大きな課題を抱えています。たとえば在宅患者の治療や介護にあたっては、在宅主治医、訪問看護師、薬剤師、地域包括担当者、ケアマネジャー、訪問介護事業者と、立場も所属も違う人たちが必要な情報を効率的にやり取りしなければなりません。また、治療や介護の質をより高めるためには、地理的・時間的制約を克服し、多職種間で活発な相談・議論の場を持つ必要があります。

メディカルアイは、約5年前から業界に先駆けて多職種間でカルテ情報などの医療情報が共有可能なサービス「医歩ippo」を開発・提供してきました。「医歩ippo ソーシャルネット」では、SNS機能を搭載することにより、訪問スケジュール・訪問記録や文書などを多職種間で効率的に共有できるほか、患者の状況で気づいたこと、相談や助言など、双方向での密なコミュニケーションが可能です。

一方、富士ゼロックスシステムサービスは、戸籍電算化システムをはじめとする自治体住民窓口サービスを中心とした「自治体・公共向けソリューション・サービス」を、各地の自治体に提供してきました。この度の協業により、富士ゼロックスシステムサービスが、メディカルアイの「医歩ippo ソーシャルネット」を地域単位で販売することで、地域における在宅医療・介護サービスのさらなる質の向上・効率化さらには地域、在宅医療を支える地域社会貢献を目指して参ります。

【医歩ippo ソーシャルネットの特徴】

「医歩ippo ソーシャルネット」は、在宅での医療・介護に従事する医師や看護師、薬剤師、地域包括担当者、ケアマネジャー、訪問介護事業者などが、効率的に情報を共有し、密に連携するための仕組みです。患者ごと・職種ごとにコミュニティと呼ばれるチームを形成し、訪問スケジュールや訪問記録、相談、テーマごとのディスカッションなど、医療情報を含む様々な情報を共有できます。

「医歩ippo ソーシャルネット」の導入に際しては、過去の導入実績に基づく運用ノウハウを含め、ト

ータルにご支援することが可能です。

1. モバイル端末から利用

PCやモバイル端末から、いつでも・どこからでもアクセス可能です。

2. 日時と訪問履歴とコメントを記録

訪問記録に連動して、他のメンバーがコメントを付け加えることができます。

3. 業務を効率化

訪問前、移動中にも情報を参照・登録でき、業務の効率化が図れます。また、円滑な情報共有により、多職種チームとしての連携を強化できます。

4. アプリケーション連携が容易

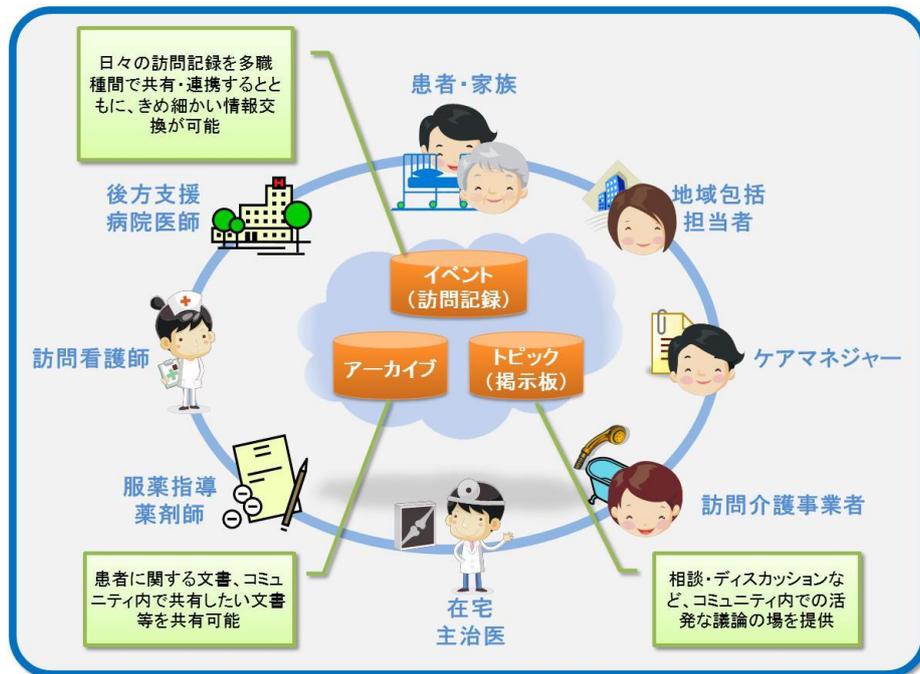
既存の電子カルテやその他のアプリケーションとの連携が可能です。

5. セキュリティの高い情報共有

クラウドサービスを提供するデータセンタやネットワークインフラは、厚生労働省・経済産業省・総務省の医療情報の取り扱いに関する各ガイドラインに準拠しています。

6. 蓄積情報は地域のナレッジとして利活用

訪問記録や掲示板に書き込んだ相談、ディスカッションの結果などは、すべてデータベースに保存されます。将来的に、よりよい医療・介護連携のモデル作りや、各職種の学習の材料として利活用できます。



医歩ippo ソーシャルネットによる連携イメージ

【医歩 ippo ソーシャルネット導入事例】

■天童市東村山郡医師会■

山形県在宅医療推進モデル事業「ICT利活用による在宅関連多職種連携システム」（平成24年度）において、在宅医療における多職種チーム内での情報共有に「医歩ippo ソーシャルネット」を採用。在宅医師をはじめ、病院医師や訪問看護師、ケアマネジャー、作業療法士など多職種が情報共有をしています。モデル事業の中で寄せられたご意見は、今回リリースする「医歩ippo ソーシャルネット」の新バージョンに反映させていただきました。



【メディカルアイ】 <http://www.medical-i.jp/>

本社：東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル14階

設立：2007年10月

資本金：48百万円

メディカルアイは、新たな医療・介護モデル作りを目指した国・自治体等の実証事業・研究事業にも深く携わるとともに、医療・介護向け情報共有ソリューションを提供しています。

➤ 医歩ippo ソーシャルネット

在宅患者への訪問記録やトピックごとのディスカッションなどを共有でき、医療・介護に携わる在宅主治医、訪問看護師、地域包括担当者、ケアマネジャー、訪問介護事業者など、多職種チームとしての連携を強化します。

➤ 医歩ippo 医療カルテ

医師がモバイル端末を利用して院外から電子カルテを記載・参照でき、訪問看護ステーションや調剤薬局との多職種間における情報連携も容易です。

➤ 医歩ippo 住民健康カルテ

住民の健康に関する情報（健診／検診結果、指導内容、相談記録等）をカルテ形式で蓄積・共有でき、行政機関、健診機関、保健師、医師など、多職種間で連携して住民サービ

スを提供することができます。

➤ 医歩ippo 地域お薬カルテ

二重入力することなしに患者の調剤情報を共有でき、地域内の医師、調剤薬局、救急隊員など、多職種間での情報確認・服薬指導などに利活用できます。

【富士ゼロックスシステムサービス】 <http://www.fxss.co.jp/>

本社：東京都千代田区神田錦町3-7-1 興和一橋ビル5階

設立：1988年9月

資本金：2億円（富士ゼロックス株式会社 100%出資）

富士ゼロックスシステムサービスは、全国の1,000を超える市区町村の住民窓口部門に対して、戸籍電算化システムをはじめとする自治体住民窓口サービスを中心とした「自治体・公共向けソリューション」を展開しています。

このプレスリリースに関する問い合わせ先

メディカルアイ株式会社

TEL：03-5532-8976

Mail：info@medical-i.jp

担当：山口